

伊勢湾貧酸素情報（第 3 報）

三重県水産研究所 鈴鹿水産研究室

伊勢湾の底層では海水中の溶存酸素濃度が低下しており、広い範囲で 2 mg/L 以下の貧酸素水塊が形成されています。

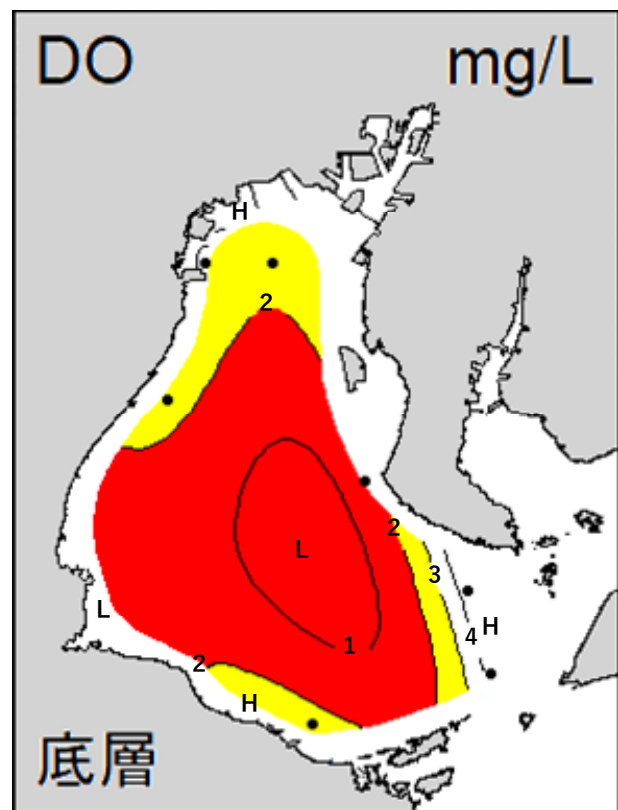
8 月 6 日の調査結果

8 月 6 日の調査船「あさま」の定線観測によると、水温は表層で 26.8～29.7℃、10m で 20.8～22.4℃、底層で 18.2～21.9℃ の範囲にあり、表層は平年より高め、10m は平年より低め、底層は平年よりやや低めとなりました。

DO（溶存酸素濃度）は表層で 7.1～9.8 mg/L、10m で 2.2～5.4mg/L、底層で 0.2～4.5 mg/L の範囲にあり、表層は平年並、10m と底層は平年よりやや低めとなりました。

底層では、先月の観測時より規模が拡大し、依然として広い範囲で 2 mg/L 以下の貧酸素水塊が形成されていました。

表層と底層の水温差が大きいことなどにより、海水の上下混合が起こりにくく、今後も貧酸素状態は継続するものと考えられます。



底層貧酸素水塊分布図